

アート&ライブラリー
**みんなの
 KICHI**
 叶と機知があふれる基地



『みんなのKICHI』ができる
 3つのこと。

■ **アートワークショップ**

絵を描いたり、段ボール工作をしたり。
 手を使って発想を形にするものづくり。
 アートといえども図工だけでなく、言葉で表現する作文教室、詩の朗読
 時間なども開催予定。ゲスト講師は横須賀で活動する作家とタッグを
 組んで、子どもたちのアイデアに火をつけます。



■ **ライブラリートーク**

書籍を執筆する作家さんをはじめ、美しい音楽を奏でるミュージシャン、
 社会問題に取り組むジャーナリストや教育者、医療従事者などをゲスト
 に、テーマをもとに語り合うトークイベントを行う他、親子で楽しめる豊
 かな時間を企画します。終演後は、書籍や作品販売も致します。



■ **はなしができる**

学校のこと、保育園や幼稚園でのこと。子どもの生活面で気になること。
 相談といえるほど悩んではないけれど……という話でも大丈夫。保育
 士をはじめ、子どもの教育に携わっているプロが親身にお聞きします。
 大人だけでなく、子どもが直接お話しに来てくれても歓迎です。



※初年度は固定の場所ではなく、
 公共施設など市内を巡ります。
 随時予定はwebにアップします。

事前予約制！申し込みフォームはこちら
<https://motheru.jp/evet/minkchi-program/>



みんなのKICHIは、令和8年度こどもの居場所づくり支援体制強化事業に係るNPO等と連携したこどもの居場所づく
 り支援モデル事業の国庫補助協議の結果、採択されました(こども家庭庁より)。
 主体は横須賀市、マザールは企画運営を担う協業プロジェクトです。
 主催：横須賀市 企画運営：(有)マザール

自由な表現には、きっかけが詰まっている。

『みんなのKICHI』に込めた意味

マザールは、『お母さんを社会に混ぜる』をコンセプトに「働くお母さんの食
 と職を応援する」広告企画会社として2004年に起業し、これまで続けてま
 いました。2020年にコロナ禍となり大きな転機を迎え、独学で保育士資
 格取得。

保育園→幼稚園→児童相談所→子育て相談センター→小規模保育園の
 他、隙間でベビーシッターも200件以上携わり、多くの児童とご家庭を支え
 てまいりました。そうした現場で経験を積み一方で、マザールの法人として
 新たに親子が元気になるプロジェクトを何かできないかと構想しつつ試行
 錯誤してまいりました。

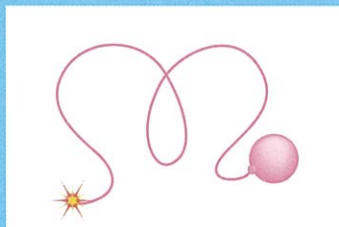
起業22年目となる2026年春。子どもの育ちに困難を抱える家庭をはじめ、学校の枠組みからこぼれてし
 まっている子どもたちに伴走したいと考え、構想を具体化して動き始めることにしました。
 みんなのKICHIは、家や学校以外のサードプレイスという意味の「基地」。そして、集まるみんなに幸運が
 訪れる「吉」の意味と、「機知」に富む大人がスキルを発揮できる場。そうした意味を掛け合わせた遊び場を
 つくりたいと考えて、初年度はアートワークショップとライブラリートークの2本立ての企画を展開します。
 スケジュールと企画詳細はwebやSNSでチェックできます。どうぞいらしてください。



マザール：あべみちこ

『みんなのKICHI』公式サイト
<https://minkichi.jp/>

事前予約制！
 申し込みフォームはこちら
<https://motheru.jp/evet/minkchi-program/>



マザール

有限会社マザール
 〒238-0004 横須賀市小川町19-5 富士ビル3階
 ☎ motheru2004@gmail.com 🏠 <https://motheru.jp/>



考えを深められ、創造力を培える。みんなの KICHI 横須賀で新しい遊び場が始まります。

アートワークショップ

6月 JUNE

6/7
日

横須賀市青少年会館・青少年活動コーナー

「壁に海の絵を描こう！」

11:00～16:00(開場10:30 / 受付終了15:00)

青少年会館の真っ白い壁に、思い切り絵を描いてみませんか？
ずーっと残る自分の絵。
テーマは横須賀らしく「海の生き物」「海の思い出」という海まわりの絵にします。
部屋の壁をキャンパスに見立てて自由に描けます。
こんな機会は二度とない。お絵描き好きの皆さん、ぜひお越しください

※時間内でしつらいつでもお越しください。
※汚れてもいい服で参加してください。
服も靴も絵の具で汚れます。
※昼食は各自で事前に済ませてくるか、ご持参ください。

■ 講師 / 鈴木ケイナ

1986年生まれ。ドイツ、ベルリンにて現代美術を学ぶ。
アートワークショップユニット「コネルテ」所属。自主企画や各地イベントにて、アートワークショップを行う。
保育園、幼稚園、学童などでアートクラスを担当。作家としても活動中。



ライブラリートーク 無料

6/21
日

横須賀市青少年会館・会議室

「不登校と教育の未来 ～学校に行かない選択をしたキミへ～」

13:30～15:00(開場13:00)

学校だけが世界じゃない。では学校以外でどうやって学びを深めるか？
もしわが子が不登校になったら、どう捉えるか？今、社会で求められる力とは？
それぞれ異なる専門分野のお二人に、お話を伺います。
お悩みの渦中にいらっしゃる方も、支援されている方も、必聴のトークセッションです！

■ ゲスト / 矢萩邦彦 (やはぎくにひこ)

知窓学舎 塾長 / 多摩大学大学院 客員教授 / 教養の未来研究所 所長 / 探究推進機構 理事
教育・アート・ジャーナリズムの現場でキャリアを積み、1つの専門分野では得にくい視点と技術の越境統合を探究するアルスコンビネーター。2万人超の指導と企業コンサル経験をもとに、「探究×受験」を実践する統合型学習塾『知窓学舎』を運営。大学院MBAコースでは「実践リベラルアーツ論」を担当し、AI時代を豊かに生きるための知識と技術の横断的デザインに取り組む。KIDS DESIGN AWARD2024受賞。文部科学省「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」「公務員デジタル人材育成モデル構築事業」の事業推進委員も務める。著書に『正解のない教室』『子どもが「学びたくなる」育て方』『先生、この「問題」教えられますか？』『超中学受験論』ほか。



■ ゲスト / 養田雅之 (みのだまさゆき)

コピーライター、一般財団法人「東京サドバリースクール」評議員、アートフリースクール・ポルタハーバーキャブテン
子どもがオルタナティブスクールに通うようになり、従来の学校教育の在り方に疑問を持ち、教育分野の研究に着手。自立した人間を育てるための保護者のあり方を探究するとともに、各地でお話し会「もう不登校で悩まない!』『おはなしワクチン』」の活動を続けている。著書「もう不登校で悩まない! おはなしワクチン」「とりあえずビール。』で、不登校を解決する「蘭の城」(びーんずネット)



アートワークショップ

7月 JULY

7/5
日

横須賀市総合福祉会館・5階創作活動室

「新聞の海を泳いでオブジェをつくろう！」

10:00～12:30(9:45開場)

新聞をびりびりにして海をつくろう！
それだけでも楽しめますが、遊んだ後は新聞を丸めたり、好きな物を形づくり、
段ボールを巻いたオブジェもつくります。どんなモノが誕生するか？は当日のお楽しみ。

■ 講師 / 木下美穂 (きのした みほ)

図工教室「ず」主宰。1966年生まれ。千葉県出身。高校卒業後、横浜で学び歯科技工士として働く。
結婚後は川崎から横須賀へ越えてきて念願の海の近くに中古物件を購入し四半世紀。自宅で大人と子どもの図工教室「ず」を主宰。
フレブル2匹と、たまに来る孫2人と遊ぶ生活を楽しみつつ、横須賀美術館ボランティアすかび隊として活動する。
油彩画で千葉県展入選、勤労者展特別賞受賞、上野の森自然を描く展入選。
陶芸では「2011めし碗グランプリ展」審査員特別ユーモア賞受賞など受賞歴多数



ライブラリートーク 無料

7/19
日

横須賀市総合福祉会館・7階第1音楽室

「好きを極める。～天才の芽を伸ばすチカラ～」

14:00～15:30(13:30開場)

ピアノの音色だけでも癒されるのに、なんでも即興で歌にして、
笑いや涙に変えてしまう魔法使いのような音楽家、秦万里子さん。
美しい演奏に感情を揺さぶられ、癒されます。

双子の娘さんは発達障がいですが、
さまざまな経験を越えた今、講演活動にも力を入れておられます。
学校、職場、今いるコミュニティ……に違和感を感じる方、必聴のLiveです。

■ ゲスト / 秦万里子 (はた・まりこ)

音楽家。音楽を楽しむことに徹底したライブ、コンサートを行い、一方では自分自身の介護経験、発達障害の双子の娘の育児経験を
生かし、各種施設、教育現場などで気持ちに寄り添う講演や公演を多数行う。
音楽指導にも力を入れ、東京・神奈川・大阪と各地で楽譜を使わないコーラス(総称:大人の365日を歌うアマチュアシンガーズ
「Cha-Cha」)9グループを教えている。2019年から三越カルチャーサロンでも歌う教室を持ち、その独自の世界が広がっている。
平和への思いをコーラスメンバーと共に広げる活動も精力的でマレーシア、アメリカ、香港、広島などでも演奏。



ライブラリートーク 無料

8月 AUGUST

8/9
日

横須賀市総合福祉会館 5階ホール

「はだしのゲンはまだ怒っている」から、平和を考えよう。

11:00～13:00(上映90分 トーク20分)

アメリカが広島に落とした原子爆弾で被爆し、家族を失った少年ゲンが、
貧困や偏見に苦しみながらも力強く生き抜く姿を描いた漫画「はだしのゲン」。

世界的に名誉ある賞を数多く受賞してきた一方で、
この作品を閲覧不可にしようとする動きもある。
さまざまな人物に多角的に取材。平和を考える新たな視座を得られる作品です。
当日は上映後に込山監督とトークセッションも行います。

■ ゲスト / 込山正徳 (こみやま・まさのり)

映画「はだしのゲンはまだ怒っている」企画・監督・編集/映像ディレクター
1962年横浜生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業後、フリーの映像ディレクターとして、約40年間ドキュメンタリー番組を制作。
テーマは市井の人々の喜びと悲しみ。「春想い～初めての収穫～」(93/フジテレビ「NONFIX」)でギャラクシー選奨受賞。「生きてます
16歳～500gで生まれた全盲の少女～」(00/フジテレビ「ザ・ノンフィクション」)でATP総務大臣賞受賞。「われら百姓家族」(00/フジテレ
ビ「ザ・ノンフィクション」)はシリーズ化され話題に。2005年、自らのシングルパパ・ライブを綴った「パパの涙で子は育つ」シングルパ
パの子育て奮闘記(ポプラ社)を上梓、2007年にフジテレビ「金曜プレステージ 父の日スペシャル パパの涙で子は育つ」として江口洋
介主演でドラマ化された。他、話題となった番組制作多数。



アートワークショップ

8/23
日

横須賀市総合福祉会館・5階創作活動室

「切り絵コラージュで、夏の思い出をつくろう！」

11:00～16:00(開場10:30 / 受付終了15:00)

夏休みも終盤。夏の思い出を切り絵にして額縁に入れてみよう。いろんな紙から何を連想できるかな？
色、柄、材質、厚みなど紙にはさまざまな表情があります。夏の思い出を写真やモノなど何からイメージしてもOK。
切り取りたいワンシーンを切り絵にします。夏休みの宿題にも最適！ゲストのさめさめばんださんにコツを
伝授してもらいながら一緒につくりましょう。
※時間内でしつらいつでもお越しください。 ※昼食は各自で事前に済ませてくるか、ご持参ください。

■ ゲスト / さめさめばんだ (切紙貼り絵作家 / アップサイクルアーティスト)

美術系の職業勤務を経て2022年より本格的に作家活動。
幼いころから日常にあふれる紙がとても愛おしく、その紙を集めて、切ったり貼ったりしながら作品を制作。
またカッターを使わずはさみのみで制作するスタイルで制作。

